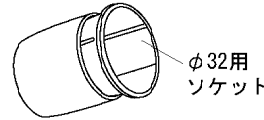


襖用脱着手すりブラケット取扱説明書

襖用脱着手すりブラケットは手すりを連続して取付けるための部材です。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付をして頂くためにも施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守り下さい。

施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外にはご使用できません。
- 木製手すりと連続してご使用される場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットをご使用下さい。
- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32用ソケットを取りはずしてご使用下さい。φ32をご使用の場合はφ32用ソケット、スペーサーをご使用下さい。**
- 35・32シリーズ木製手すり（アッシュ又はタモ集成材）をご使用の場合、ブラケットの間隔は、
φ35の場合L=900mm以内
φ32の場合L=700mm以内
で取付けて下さい。
- 900mmより広い間隔でご使用の場合は必ず当社指定の手すり棒をご使用ください。
・襖用脱着手すり棒 φ35、L=2000
- 下地の無い場合は下地補助をして下さい。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えて下さい。



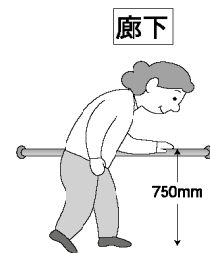
警告

！外開き部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意下さい。
！この商品は手すり棒がキャッチブラケットに確実にセットされている時に強度が保持されます。キャッチブラケットにセットされた時には毎回確実にセットされていることをご確認下さい。
！ケガ・床の破損・部品の破損の原因になりますので手すり棒の落下等には十分ご注意下さい。

参照

■手すりの使い方と取付位置

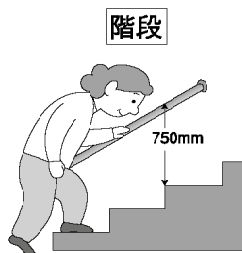
*歩行時、手をそえて握る様に使用する。



廊下

750mm

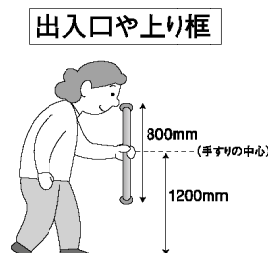
*歩行中に動作が変わる場合に握って使用する。



階段

750mm

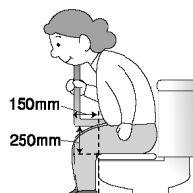
*立ち上がる時に握って使用する。



出入口や上り框

800mm
(手すりの中心)
1200mm

トイレ



150mm

250mm

*寸法は目安ですので、使用される方の身長や体の程度により考慮して下さい。

■梱包部品図

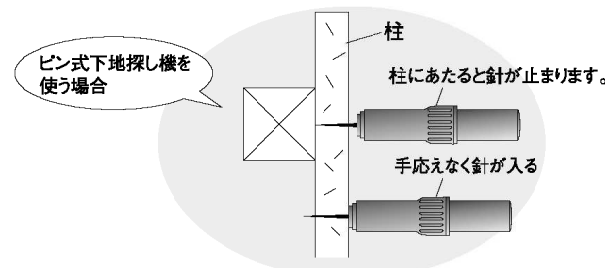
1. キャッチブラケット	2. ラッチブラケット	3. 化粧キャップ	4. φ32用ソケット
5. スペーサー	6. ブラケット取付ネジ ※取付の際には壁にφ3程度の下穴を空けて下さい	7. 手すり取付ネジ ※取付の際には手すりにφ3程度の下穴を空けて下さい	8. 金属手すり取付ネジ ※襖用脱着手すり棒専用
	 ⊕皿タツピン [®] 3.5×40	 ⊕丸皿タツピン [®] 3.5×20	 ⊕皿ドリル 3.5×19

■襖用脱着手すりブラケット梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	キャッチブラケット 左右	アルミダイカスト アクリル系樹脂焼付け塗装	1セット
2	ラッチブラケット 左右	アルミダイカスト アクリル系樹脂焼付け塗装	1セット
3	化粧キャップ	ABS	2個
4	φ32用ソケット	ABS	4個
5	スペーサー	ABS	2個
6	ブラケット取付ネジ [®] ⊕皿タツピン [®] 3.5×40	鉄製	8本
7	手すり取付ネジ [®] ⊕丸皿タツピン [®] 3.5×20	鉄製	6本
8	金属手すり取付ネジ [®] ⊕皿ドリル 3.5×19	鉄製	4本

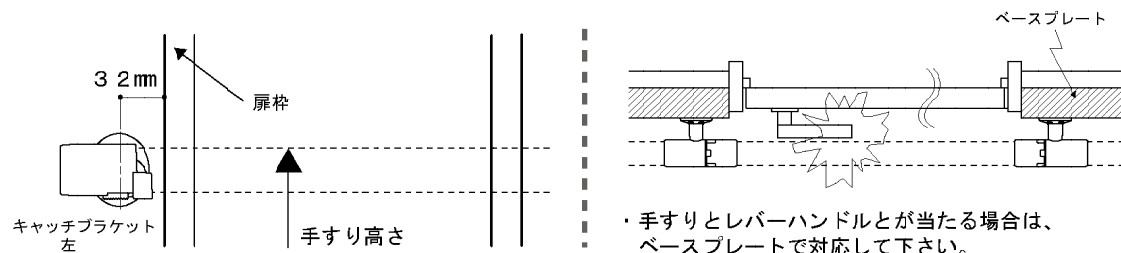
■柱を探すには？

- 壁の両端には柱がありますので、そこを基準に左図の様に柱が入っている事が多く、軽くたたいてかえってくる音でだいたいの位置を確認します。
- 次に市販のピン式下地探し機（又は、超音波式探知機）で正確な位置を確認して手すりブラケットの取り付け位置を決めて下さい。

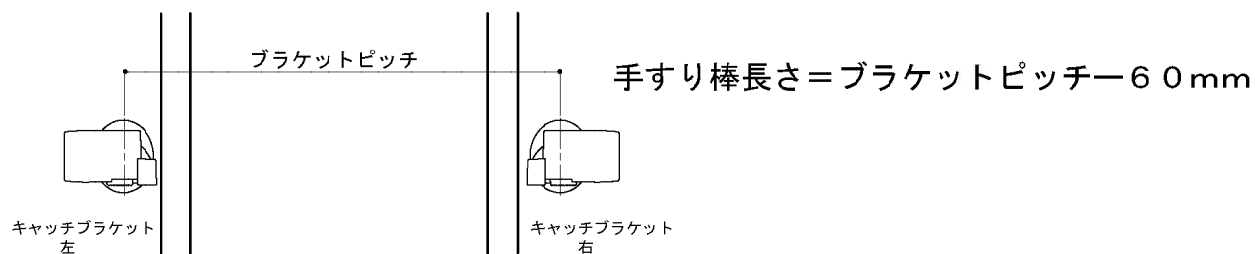


施工手順

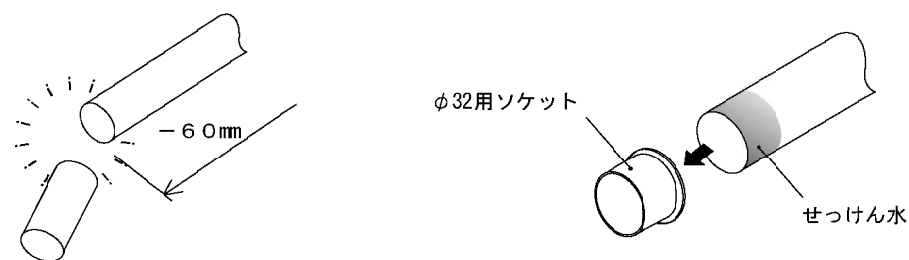
1. 片方のキャッチブラケットを取付けます。(説明では左を先に付けます。)
扉枠からブラケットのセンターピッチで32mm以上取って下さい。
レバーハンドルなどに手すり棒が当たる場合は別途ベースプレートで対応下さい。
注) 手すりと連続で使用される場合は手すりの高さに合わせて下さい。



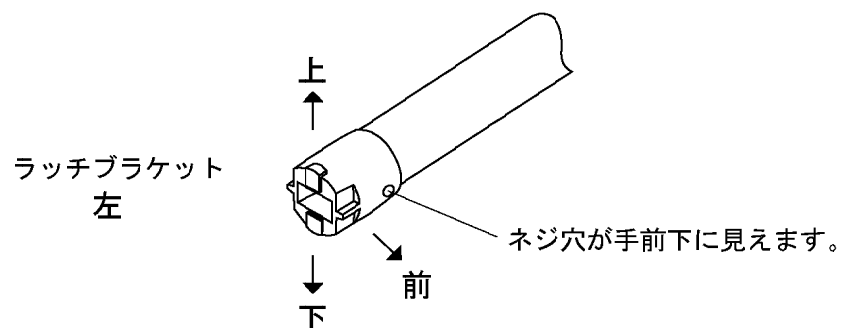
2. 手すり棒をカットします。先にブラケットピッチを決めて下さい。



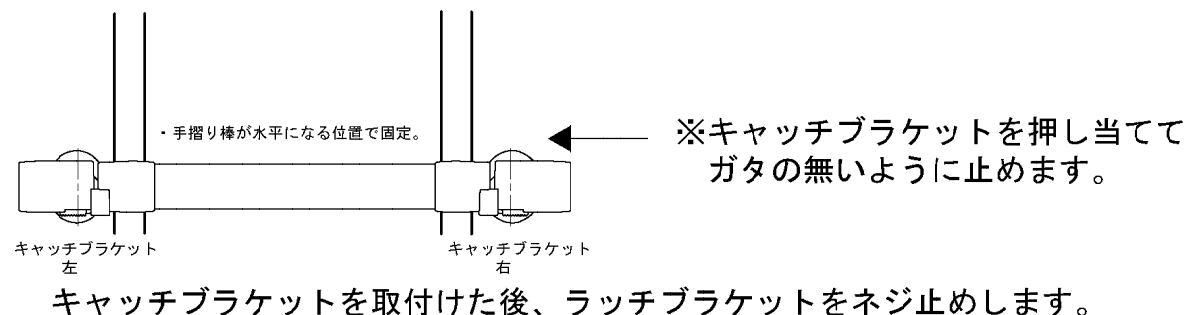
- ・ブラケットピッチから60mmマイナスした寸法でカットします。
注) 襖用脱着手すり棒をカットした場合は、カット面がφ32用ソケットに入りにくい場合があります。その場合は、せっけん水をつけて、すべりやすくして入れて下さい。



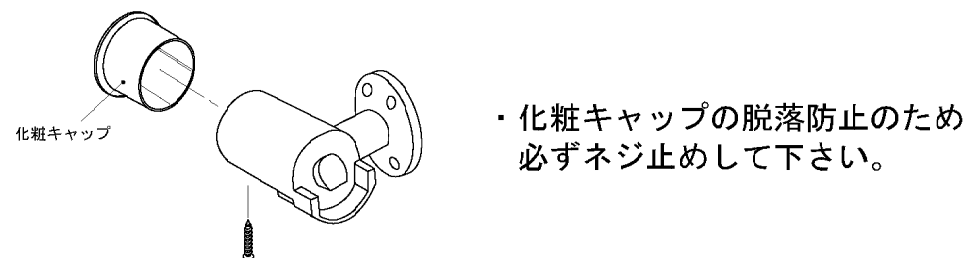
3. カットした後、取付けたキャッチブラケットの側のラッチブラケットを差し込み、ネジ止めして下さい。(襖用脱着手すり棒の場合はドリルネジを使用して下さい。)



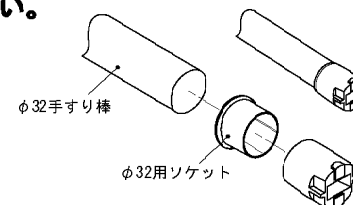
4. 右側のキャッチブラケットを取付けます。
右側のラッチブラケットを手すり棒に差し込み、両端をキャッチブラケットにセットして手すり棒が水平になる位置で先にキャッチブラケットをネジ止めします。



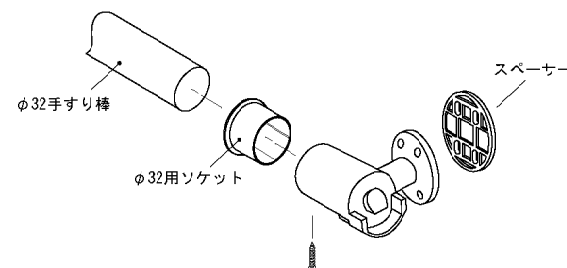
- 連続手すりとして使用されない場合
化粧キャップをご使用下さい。(但しφ32用ソケットを取り外して下さい)



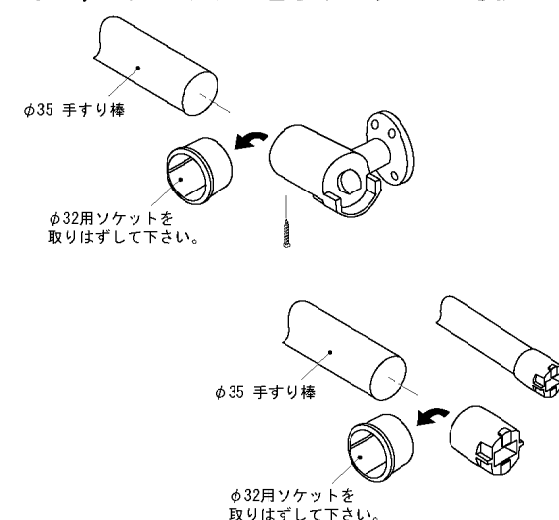
- φ32手すり棒を取付ける場合は、φ32用ソケットをご使用下さい。



- ・32シリーズで連続手すりにする場合は、高さ調整のスペーサーをご使用下さい。



- φ35手すり棒を取付ける場合は、予め嵌め込んであるφ32用ソケットを取りはずして下さい。



お問い合わせ先

マツ六株式会社
商品企画部
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL. 06-6774-2222 FAX. 06-6774-2248